

母乳で育てたいお母さんと、支援したい専門家のためのセミナー

Dr.と学ぶわくわくおっぱいライフ



マタニティ
サポートカフェ Vol.5

※8月に台風の為中止したvol.5の振替開催です！

主催：マタニティサポートカフェ鹿児島
共催：霧島市 後援：鹿児島県助産師会

2017

12月17日(日)

霧島市国分シビックセンター 多目的ホール

(鹿児島県霧島市国分中央3-45-1 霧島市役所国分庁舎2F)



講師

涌谷 桐子 先生

IBCLC（国際認定ラクテーション・コンサルタント資格評議会）・産婦人科医
2008年～2011年NPO法人日本ラクテーション・コンサルタント協会（JALC）代表。
2008年～沖縄県立看護大学非常勤講師。
2003年12月に脳出血になり、右半身不随。著書に『ドクターKIRIKOのおっぱい育て』
また、各地でテキストにも採用されている『母乳育児支援スタンダード第2版』の編集委員。
著書に『ドクターKIRIKOのおっぱい育て』。
また、各地でテキストにも採用されている『母乳育児支援スタンダード第2版』
の編集委員で著者のひとり。



専門家向け



一般の方向け

全日参加 /9:30～15:30

対象： 医師・助産師・保育士などの母子に関わる専門家
会費： 6,500円（資料・昼食代込み）
定員： 70名程度

第1部のみ参加 /9:30～11:30

対象： プレママ・ママ・興味のある方
会費： 1,500円（資料代込み）
定員： 100名程度

第1部 9:30～11:30

「Dr.KIRIKOと学ぶわくわくおっぱいライフ」

「おっぱい」は赤ちゃんとママをつなぐ大切なものです。でも、母乳育児に関しては myth（神話）のように語られていることが多いと感じませんか？医学的な知識にもとづいた、わかりやすい言葉で解説してもらいながら、おっぱいの仕組みや母乳育児のコツを学びましょう。

第2部 13:30～15:30 ※ 第2部は IBLCE の継続教育単位の認定講座です。

「わくわくおっぱいライフを支援するための基礎知識」

支援者なら知っておきたい、①根拠に基づく母乳育児支援の基礎知識 ②入院中から退院後の各時期の観察項目や情報提供 ③ママの「困った」に寄り添える関わり方 ④今後の見通しが立つ説明の仕方について学びます。

お申し込み方法

- ◆12月5日までに「専用フォーム」または「メール」「電話」でお申込みください。その後の振り込み確認にて受付といたします。
- ◆電話はすぐに取れないことがあります。その場合は留守電に連絡先などのメッセージを残してください。



▲ PC・スマホ共用フォーム URL
<https://ws.formzu.net/fgen/S30969270/>

【お問い合わせ / 申し込み先】

マタニティサポートカフェ鹿児島事務局
詩音助産院（大村）

📞 090-9791-8051

✉ msc.kagoshima@gmail.com

母乳育児 Yes or No ?

以下の問い合わせ正しいか正しくないか考え、○をつけておきましょう。マタニティサポートカフェ当日、Kiriko 先生に解説していただきます。おたのしみに♪

01

◎日本で販売されている人工乳は改良が加えられて、母乳と遜色のないものになっている。

Yes 正しい

No 正しくない

02

◎妊娠中に乳首の手入れをするかどうかで、産んだ後の母乳の出が変わる。

Yes 正しい

No 正しくない

03

◎乳房の大きさと、母乳の出は関係しない。

Yes 正しい

No 正しくない

04

◎生まれてすぐの元気な赤ちゃんは、自分の力で母親の乳房まで移動することができる。

05

◎初乳は少ししかないので、糖水や人工乳を足す必要がある。

Yes 正しい

No 正しくない

06

◎母乳の出をよくするためには乳房マッサージが必須である。

07

◎授乳は3時間おきに、左右5~10分くらいうつするのがよい。

Yes 正しい

No 正しくない

08

◎乳腺炎になるのを予防するためには、脂っこいもの、カロリーの高いものを避けることが必要。

09

◎授乳中に妊娠したら、授乳をやめなければならない。

Yes 正しい

No 正しくない

10

◎子どもが1歳くらいになると母乳は薄くなり、授乳は「精神的安定を与える」以外の意味がなくなる。

Yes 正しい

No 正しくない



母乳育児支援ツール

「あむあむおっぴ」

東日本大震災被災女性支援の「毛糸のおっぱいプロジェクト」で作られました。
当日販売もございます。 大：2,000円／小：1,200円

マタニティサポートカフェに参加しませんか？

『お産を取り巻く状況が急激に変化する今だからこそ、職場や職種を超えた仲間を作りたい！』

フラットな立場で語り合い、それぞれのできる範囲を理解し、想いを一緒にできたら鹿児島のお産環境はもっと良くなるはず。FBページでの情報交換と、年2~4回程度勉強会や異業種交流会を開催しています。

※次回開催は、2月4日（日）です。歯科医師であり、保育園経営も手がける花田真也先生による新生児期からのお口の発達についての講座を予定しています。情報やお知らせをご希望の方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。

MSC
Maternity Support Café
For Mama & Medical personnel
KAGOSHIMA